

ポーランド政治クロノロジー(2010年5月)

月	内政	外交・軍事
5月	<p>4日 リピンスキ「法と正義」副党首、ポラチェク「ポルスカ・プルス」党首、ドルン「ポルスカ・プルス」院内総務、ユレク「共和国右派」党首に復党を提案。</p> <p>5日 大統領機墜落事故の犠牲となった下院議員15名の後任議員11名(4名欠員)の宣誓式。</p> <p>5日 上院議員3名の補欠選挙に関し、「市民プラットフォーム」と「法と正義」は、他党が議席を有していた選挙区には自党の候補を擁立しないことで合意。</p> <p>6日 大統領候補、立候補届出締め切り。9名が有効数(10万人以上)の支持署名を提出。</p> <p>9日 ポラチェク「ポルスカ・プルス」党首、党としてのカチンスキ「法と正義」党首支持を表明。</p> <p>9日 カチンスキ「法と正義」党首、YouTube映像(ロシア語字幕付)にて、大統領機墜落事故に際してのロシアの支援と共感に対し謝意を表明。</p> <p>9日 大統領官邸前で、大統領機墜落事故の原因究明のため、国際委員会の招集を要求する数千人規模のデモ。</p> <p>13日 カチンスキ「法と正義」党首は、航空機墜落事故以降最初のインタビューをインターネットで行い、「市民プラットフォーム」政権との協力姿勢を示唆。</p> <p>16日 ワレサ元大統領、ワイダ監督、マゾビエツキ元首相等160人のメンバーからなるコモロフスキ大統領代行を支持する名誉委員会発足。</p> <p>17日 マウォポルスキエ県を中心に南部ポーランドで洪水警報、1500人以上の住民が避難、4名が死亡。</p> <p>19日 トゥスク首相は南部ポーランドの洪水被害について、自然災害宣言を発動する事態には達していない旨発言。</p> <p>19日 政府は、住民への補償等の財政支出の対策及びEU連帯基金への支援要請を検討。洪水による避難住民は1万人弱、8名が死亡(累</p>	<p>4日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外大臣、独仏訪問(-5日)。</p> <p>4日 スタホヴィアク参謀総長代行、EU軍事委員会会合に出席。</p> <p>5日 シコルスキ外相、ペルー、コロンビア訪問(-7日)。</p> <p>5日 ハリツキ下院外務委員長(PO)、訪露。コサチエフ露下院外交委員長と会談(-6日)。</p> <p>5日 スタホヴィアク参謀総長代行、NATO参謀総長会合に出席(-6日、於:ブリュッセル)。</p> <p>5日 セレメタ検事総長、政府専用機墜落の事故調査に関し、訪露(-6日)。</p> <p>6日 デイ欧州委員会事務総長、ポーランド訪問(-7日)。</p> <p>7日 チェニユフ中将、ポーランド軍参謀総長に任命。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領代行、対独戦勝65周年記念式典に出席のため訪露。メドヴェージェフ大統領、メルケル独首相と会談(-9日)。</p> <p>9日 ポーランド軍儀仗隊、モスクワで開催された対独戦勝65周年記念式典パレードに初めて参加。</p> <p>10日 シコルスキ外相、EU外務理事会・総務理事会に出席。EU14カ国から成るウクライナ・フレンズ・グループ+ウクライナ外相と会合。</p> <p>10日 クリフ国防相、海外任務従事兵士手当の増額に関する新規則に署名。</p> <p>13日 トゥスク首相、メルケル独首相よりカール大帝賞を授与される(於:アーヘン)。</p> <p>13日 クファシネフスキ前大統領、ウクライナ・EU間の関係推進を目指すヤルタ欧州戦略(YES)会議の新議長に就任。</p> <p>14日 トゥスク首相、レヴァンドフスキ欧州委員(財政計画・予算担当)と会談。</p> <p>14日 トゥスク首相、プーチン露首相と電話会談。</p> <p>17日 ミロノフ露連邦院議長を長とする露代表団、ポーランド・ロシア地方自治フォーラム参加のため、</p>

<p>計)。</p> <p>20 日 国家安全保障評議会招集。議題は洪水対策。大統領代行、上院議長、首相、副首相、各政党党首、外相、内相、国防相、国家安全保障局長官が出席。</p> <p>22 日 カチンスキ「法と正義」党首、ワルシャワにて大統領選挙集会を開催し、有権者に対し、洪水の被災者との連帯を呼び掛け。</p> <p>24 日 政府、洪水による死者は14名、避難住民は約2万3千人に達した旨発表。更に10万家屋が何らかの損害を被り、被害総額は、ポーランド南部を中心に100億ズウォティ(日本円で2700億円)以上にのぼると積算。</p> <p>24 日 政府は欧州連帯基金に洪水被害への支援の申請を要請することを発表。</p> <p>24 日 トゥスク首相、洪水被害者救済のため、1世帯あたり6000ズウォティの無利子借り上げの救済措置を発表。更に洪水被害を受けた地域に1億5000万ズウォティの支援を行うことを決定。</p> <p>25 日 トゥスク首相、洪水で家屋が全壊した世帯に1戸あたり10万ズウォティを上限とする支援金を支出する旨発表。</p> <p>25 日 「法と正義」、洪水復興支援のための補正予算案を提出。</p> <p>27 日 コモロフスキ大統領代行、ベルカ元首相(現職は国際通貨基金欧州局長)を国立銀行総裁に指名。</p> <p>28 日 パブラク副首相(農民党党首)はトゥスク首相と協議し、連立維持を確認。</p> <p>29 日 カチンスキ「法と正義」党首、大統領選挙プログラムを発表。与党との協調路線を強調。</p> <p>31 日 ナピエラルスキ民主左翼連合党首、大統領選挙プログラムを発表。</p>	<p>ポーランド訪問(-18日)。</p> <p>17 日 シコルスキ外相、第6回EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国首脳会議出席(-18日、於:マドリッド)。</p> <p>17 日 米ペトリオット部隊のポーランド駐留の準備のため、25名の米兵が独からモロンクに到着。</p> <p>19 日 ロシアのポーランド政府専用機墜落事故調査委員会、墜落事故に関する初度報告書を発表。</p> <p>20 日 コモロフスキ大統領代行、新陸軍司令官、空軍司令官及び作戦軍司令官を任命。</p> <p>20 日 アフガニスタン派遣部隊報道官、同部隊がガスニ県の米軍戦闘基地を継承した旨発表。</p> <p>20 日 ポーランド・ロシア経済協力委員会開催(-21日、於:モスクワ)。</p> <p>20 日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外大臣、リディントン欧州担当閣外大臣と電話会談。</p> <p>21 日 シコルスキ外相、コホウト・チェコ外相と会談(於:ピドゴシュチュ)。</p> <p>24 日 EU 東方パートナーシップ非公式外相会合開催(於:ソポト)。</p> <p>24 日 シコルスキ外相、グリシチェンコ・ウクライナ外相と会談(於:ソポト)。</p> <p>25 日 ポーランド・ロシア両下院外交委員会が会合(於:ワルシャワ)。</p> <p>26 日 米ペトリオット部隊の駐留歓迎式典挙行。クリフ国防相、コジェイ国家安全保障局長官、駐ポーランド米大使等出席(於:モロンク)。</p> <p>28 日 クリフ国防相訪独。ツォーグテンベルグ独国防相と会談。</p> <p>30 日 ミレル内相、墜落した政府専用機のブラックボックスのコピー等受領のため、訪露(-31日)。</p> <p>30 日 コモロフスキ下院議長(大統領代行)、ワイマール・トリアングル国会議長会議に出席(於:エッセン)。</p> <p>31 日 ポーランド外務省、イスラエル軍のガザ支援船団攻撃に抗議する声明を發出。</p> <p>31 日 アシュトン EU 外務・安全保障政策上級代表、ポーランド訪問。</p>
--	---